BIO Trainer II

HV High Voltage　PM Phase Modulation　MF Middle Frequency

The best for the sports rehabilitation field.

バイオトレーナー

BIO Trainer II バイオトレーナー

The best for the sports rehabilitation field.

Multi−Functions

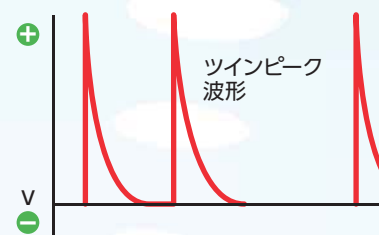
筋肉、神経、関節を深くケア。

高電圧電気刺激は、「筋肉、神経、関節を深くケアすること」が知られ、
高級器としてラインアップされていました。
バイオ・トレーナーIIはその高電圧機能を余すところなく装備。
高電圧電気刺激がより身近なものとなりました。

- **HV モード** プローブのショットスイッチで、局所に集中の高電圧刺激
- **PM モード** 位相変調の二相性矩形波交流で、約2倍の電気エネルギーを供給
- **MF モード** 皮膚インピーダンス（皮膚抵抗）の影響が少ない、中周波刺激を実現

HVモードで局所や
電気に慣れた人に

HV mode 有極

プローブのショットスイッチが、
のツインピーク波形を局所に瞬
皮膚インピーダンスの影響が
神経、筋肉へ効率的に作用します

高電圧（ハイボルト）療法（参考）

血管拡張作用による末梢循環改善
善を目的としている。

高周波特性と高電圧機能、中周波特性を装備した複合機能を搭載

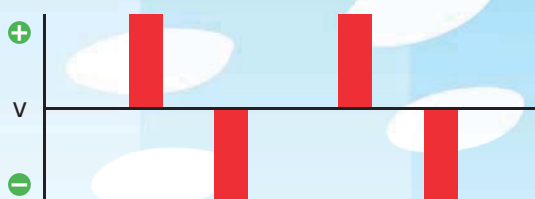
ゕトリガーポイントを短時間でケア。
ハイパワーなPMモード。

性高電圧

最大電圧180V
間通電。
経微で、深部の
す。

で、筋緊張の改

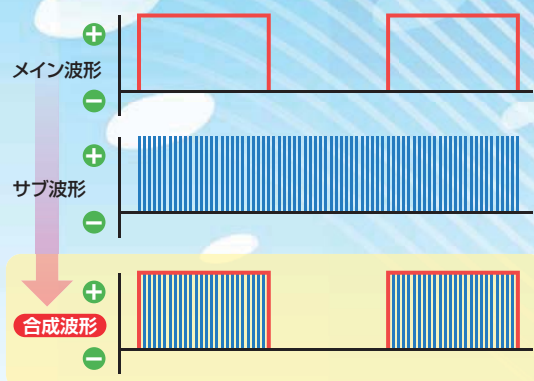
PM mode 二相性矩形波交流

電気刺激に慣れのある人。筋肉の厚い部位にも、高出力の矩形波交流通電が作用します。

二相性矩形波交流波形の特長

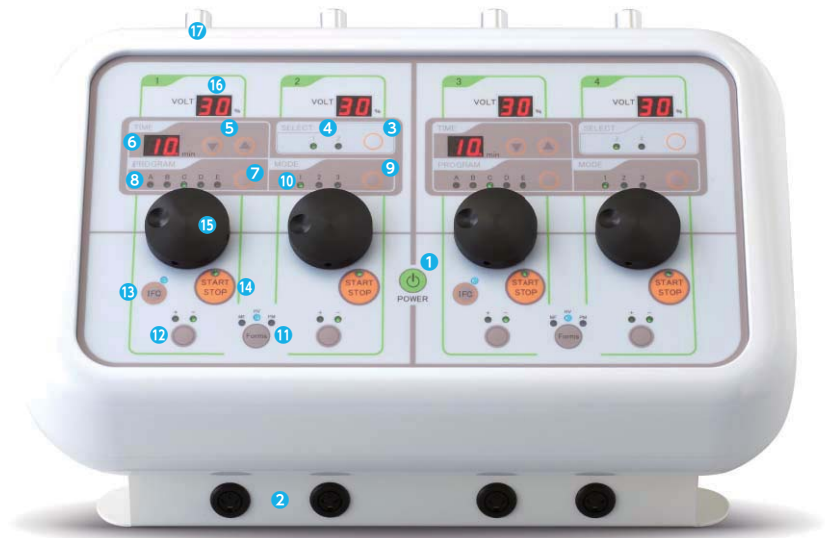
位相変調を用いた新しい波形。+−が交互に出力される。位相をずらした波形を反転合成したもので、通常波形の2倍の電気エネルギーを提供、筋疲労へのケアが期待される。

⚠ 強度調節のボリュームは、電気刺激の変化が大きいため、ゆっくり行ってください。

MF mode 有極性中・高周波

40・60・80kHzの搬送波で、皮膚のインピーダンス（抵抗）を抑え、深部筋肉へのケアを高めます。

The best for the sports rehabilitation field.

バイオトレーナー

筋肉、神経、関節を深くケア。

① メイン電源	⑦ プログラム設定	⑬ 干渉設定
② チャネル出力	⑧ プログラム表示	⑭ 開始・停止スイッチ
③ チャンネル設定	⑨ モード設定	⑮ 出力ボリューム
④ チャンネル表示	⑩ モード表示	⑯ 出力表示
⑤ タイマー設定	⑪ フォーム設定	⑰ バーストツマミ
⑥ タイマー表示	⑫ 極性設定	

バイオトレーナーII 仕様 非医療機器

- ●定格電圧：ACアダプター／入力：AC100V（50/60Hz）
- ●外形寸法：430mm（W）×250mm（D）×245mm（H）
- ●本体重量：5.0kg
- ●基本周波数：500Hz, 250Hz, 125Hz, 62Hz, 31Hzの5段階（A, B, C, D, E）
- ●搬送周波数：80kHz 200μs, 60kHz 300μs, 40kHz 400μsの3段階（MODE 1, 2, 3）
  ※搬送周波数の採用はMF（有極性矩形波群波形のみ）
- ●チャンネル数：4チャンネル、タイマ2切替、干渉（IFC）設定時は2チャンネル

●出力波形・パルス幅・通電方式

モード（出力波形）	パルス幅	通電方式 ゴム導子またはゲル導子による、中・高周波陰極または陽極通電
HV 有極性ツインピーク波形	ツインピーク波形（1ピークパルス幅25μs、総パルス幅80μs）電圧最大200V	プローブによる高電圧瞬間通電
PM 二相性矩形波交流波形	80μs 位相変調波	筋肉の収縮によるEMSが可能
MF 有極性矩形波群波形	80kHz 200μs, 60kHz 300μs, 40kHz 400μs	1）プローブのショットスイッチによる高周波・高電圧通電 2）Y型プローブ※による中・高周波局所通電
		※：Y型プローブはオプションです。

●標準付属品

- ●ACアダプター 1個
- ●通電コード（ブルー） 2組
- ●通電コード（ピンク） 2組
- ●通電導子 8枚
- ●固定バンド（大） 2本
- ●固定バンド（小） 2本
- ●ショット型プローブ 1個
  （先端：円盤形と円柱形）
- ●フェルト（円盤形用・円柱形用） 各1枚

●オプション

- ●Y型プローブ 1個
- ●ゲル導子 2組

ハイボルト 検索
http://www.ooshima.me

⚠ 安全に関するご注意
●ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●定期的に機器の点検を行ってください。

※仕様及び寸法等は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

■製造販売元
理学療法機器
株式会社 大島製作所
本社 〒132-0031 東京都江戸川区松島1-21-7 ☎03（3654）7205
関西営業所 〒578-0965 東大阪市本庄西3-7-38 ☎06（6744）0348
名古屋営業所 〒451-0054 名古屋市西区南堀越1-18-15 ☎052（521）2310
福岡営業所 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-2-5 ☎092（592）3191

2013・03・10000